

# 議会だより入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN

No. 190

2019年7月27日



じゅわ〜と  
にゅぜん

6月  
定例会

## 目次

## 汗だくでリズム遊び(芦崎保育所)

緊急!風しん予防接種	2 P
証明書手数料の一部値上げ(常任委員会レポート)	5 P
町政を問う 代表・一般質問(9議員)	6 P
特別委員会レポート	16 P
特集!コミュニティパートナーシップ事業	18 P

# 緊急！風しん予防接種 41から57歳まで対象

6月定例会の  
あらまし

6月定例会は、4日から19日までの16日間開会され、町長から提案された令和元年度一般会計補正予算1件、平成30年度一般会計補正予算など専決処分事項の承認3件を可決した。また、条例制定など議案13件のほか、議員提出議案1件を審議し、すべて可決した。さらに、黒東合口用水組合議会議員の選挙を行った。

## 補正予算の概要

令和元年度一般会計の補正予算は、消雪取水施設の老朽化に伴う工事請負費の増額、産業展示会館研修室の照明LED化と天井送風機器の更新に係る工事請負費などである。

既定の予算額に8402万4千円を追加し、総額119億6158万6千円とした。

## ◎主な事業

○道路維持管理費 2420万円

機械工業センター中央線の消雪取水施設の老朽化対応のため、工事請負費を増額する。

○感染症予防事業費 960万円

風しんの感染拡大防止のため、国の緊急対策として実施する抗体検査や予防接種に係る委託料などを計上する。

○道路改良舗装事業費 930万円

西入善駅西側の新村踏切改良計画認定のため、概略設計業務を委託する。

○産業展示会館管理運営費 112万円

産業展示会館研修室の照明LED化および天井送風機器の更新のため、工事請負費を計上する。

## 議員提出議案

一刻も早い北方領土問題の

平和的解決を求める決議

北方領土返還への思いは国民の願いであり、引揚者が多い入善町においても引揚者の方々をはじめ町民の総意である。

この度の丸山穂高衆議院議員が戦争による北方領土返還を元島民に質問した問題に対し、入善町議会としてその発言は断じて許すことはできず、強く抗議する。

同時に一刻も早い北方領土問題の平和的解決に向けた外交交渉を推進するよう政府に求めるため、この決議の採択を提案する。

賛成全員で可決

## 財産の取得

除雪ドーザー1台を更新

現在、所有している車両が導入から20年以上が経過し、老朽化していることから更新するもの。

取得価格

1601万円



更新予定の除雪ドーザー

## 工事契約を議決

予定価格が5000万円を超える公共工事の請負契約について可決した。

### ○入善町総合体育館大規模改造

メインアリーナ天井改修工事請負契約

請負者 中山建設株式会社  
請負金額 9680万円

空調設備改修工事請負契約

請負者 菱機工業株式会社  
(富山支店)  
請負金額 1億6390万円

### ○飯野小学校大規模改造工事(第3期)

建築主体工事請負契約

請負者 大勝建設株式会社  
請負金額 3億1790万円

電気設備工事請負契約

請負者 有限会社大田電気商会  
請負金額 4986万円

### ○入善小学校大規模改造工事(第1期)

建築主体工事請負契約

請負者 廣川建設工業株式会社  
請負金額 2億4640万円

電気設備工事請負契約

請負者 システムテック株式会社  
請負金額 6009万円

## 条例の制定と改正

次の条例案を審議した。

- ・入善町森林環境譲与税基金条例の制定について
- ・消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整理について
- ・入善町各種委員会委員等の報酬及び費用弁償並びに実費弁償支給条例の一部改正について
- ・入善町税条例の一部改正について
- ・入善町手数料条例の一部改正について
- ・入善町水道の布設工事の監督及び水道技術管理者の資格に関する条例の一部改正について

すべて可決



改修が始まった総合体育館

## 討論

- ・消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整理について
- ・入善町手数料条例の一部改正について

### 反対討論

松田 俊弘 議員

消費増税が住民生活に打撃を与えるのは必至だ。増税に合わせて下水道などの使用料、し尿くみ取り手数料などを上げれば、ますます生活が厳しくなり、賛成できない。

住民票など15の発行手数料を、県内5町村が一斉に200円から300円に引き上げるとのことだ。当局は「サービスを受ける住民と受けない住民との公平性を図る」と述べたが、特定の住民でなく、ほとんどの町民が受けるサービスだ。今回は、他町村が上がるから町も上げるとしか理由は考えられず、全く合理性がない。

### 賛成討論

中瀬 淳哉 議員

一般会計補正予算は、町民の要望に応えるもので大変評価する。これからも町民の声に耳を傾ける町政運営を期待している。

消費税率の改定に伴う関係条例の整理については、条例改正をしなければ町の負担増が見込まれるため、やむを得ない。

手数料条例の一部改正については、今後の人口推計を考えたも、財源の確保として手数料の改定はいたしかたない。ただし、町民の過度の負担増には十分に気をつけていたいただきたい。

◎そのほか、池原純一議員が賛成討論を行った。

# 黒東合口用水組合議会 議員の選挙

7月26日で任期満了となる黒東合口用水組合議会議員を選挙した結果、入善町選出の組合議員として、次の12名が当選した。

(任期は4年)

- 五十里 国明氏(東五十里)
- 元島 正隆氏(上野)
- 松澤 孝浩氏(青木)
- 鍵田 昭氏(東狐)
- 石田 明雄氏(下飯野)
- 松原 二美榮氏(小摺戸)
- 松原 博氏(新屋)
- 藤田 義治氏(新屋)
- 谷口 一男氏(桐山)
- 佐藤 一仁氏(横山)
- 上野 伴希氏(舟見)
- 長原 均氏(今江)

## 臨時会 4月19日

4月臨時会は、平成31年度一般会計補正予算1件を審議し賛成全員で可決した。

### ○ 補正予算

学校施設維持管理費(小学校管理費)

8億1876万円

国の「学校施設環境改善交付金」の示を受けたことに伴い、第3期飯野小学校大規模改造事業および第1期入善小学校大規模改造事業に係る工事請負費などを計上する。

## 4月臨時会の議決状況

議案番号		氏名												
		鍋嶋慎一郎	鍵田昭	池原純一	井田義孝	本田均	中瀬淳哉	田中伸一	五十里忠茂	五十里国明	野島浩	松澤孝浩	松田俊弘	元島正隆
議案第21号	平成31年度入善町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 6月議会の議決状況

議案番号		氏名											
		鍋嶋慎一郎	鍵田昭	池原純一	井田義孝	本田均	中瀬淳哉	田中伸一	五十里忠茂	五十里国明	野島浩	松澤孝浩	松田俊弘
承認第1号	専決処分第1号 平成30年度入善町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第2号	専決処分第2号 入善町税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第3号	専決処分第3号 入善町国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	除雪機械の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	令和元年度入善町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	入善町森林環境譲与税基金条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整理について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第26号	入善町各種委員会委員等の報酬及び費用弁償並びに実費弁償支給条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	入善町税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	入善町手数料条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第29号	入善町水道の布設工事の監督及び水道技術管理者の資格に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	入善町総合体育館大規模改造 メインアリーナ天井改修工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	入善町総合体育館大規模改造 空調設備改修工事請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	飯野小学校大規模改造工事 建築主体工事(第3期)請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	飯野小学校大規模改造工事 電気設備工事(第3期)請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	入善小学校大規模改造工事 建築主体工事(第1期)請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	入善小学校大規模改造工事 電気設備工事(第1期)請負契約について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出 議案第1号	一刻も早い北方領土問題の平和的解決を求める決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
選挙第2号	黒東合口用水組合議会議員の選挙について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 常任委員会レポート

## 総務 常任委員会

制度改正に伴うシステム改修 しっかりとしたチェックを

障害者自立支援事業や保育所運営費など、国の制度改正に伴うシステム改修費を計上している。

過去には、システム改修後にトラブルがあったが、そのようなことが無いように気をつけよ。

もつともな意見だ。嚴重にチェックを重ねたい。

証明書など手数料の一部値上げ

住民票や印鑑証明書など、交付手数料の一部を値上げすることだ。

証明書の交付は、全

町民が等しく提供される行政サービスであり、受益者負担というのはどうかと考える。

全町民が証明書を必要としているわけではないので、手数料については受益者負担が基本的な考え方だ。

41〜57歳男性は風しん抗体保有率が低い

風しんの緊急的な抗体検査および予防接種に係る委託料を



風しんの検査に行きましょう！

計上しているが、対象はどうなるのか。また自己負担はあるのか。

今年度41〜57歳の男性が対象だ。それ以外の方は予防接種をしていたり、抗体を保有している割合が高い。

対象の方は、抗体保有率が他の世代より10%程度低いので、保有率を上げるための事業だ。

風しんは妊婦がかかると胎児に障がいが出る可能性があり、それを防ぐのが主目的だ。自己負担はない。

2カ年継続事業とすることだが、2回の接種が必要なのか。また、今回の計上額は2カ年分か。

接種は1回だが、ワクチンの量が限られているので、2カ年に分けられている。今回の予算は1年分だ。来年度も同じくらの予算計上が必要だ。

## 産業教育 常任委員会

森林整備の財源として基金を新設

森林環境譲与税基金の具体的な目的は。

この税は国が森林環境税として集め、全国の自治体に配分するものだ。その受け皿として基金をつくる。

令和6年度から、個人住民税に1人千円ずつ上乗せされる。

それまでは、国が一部借り入れて配分される。

森林整備や保全に活用される。

町には140万円の配分とあるが、その基準はなにか。

森林面積や林業就業者数などを基に案分される。

里山温泉観光施設管理基金に積み立て

今回、施設管理の基金の積み立てに727万円余りを計上しているが、基金総額はどれくらいになるのか。

今回の分を合わせると、総額2194万円余りとなる。

積立金の目的と運用はどう考えているのか。

バーデン明日は築29年の施設で、今後の大規模改修や修繕の財源に充てる積み立てだ。

新村踏切拡幅改良に向けた設計委託料

道路改良舗装事業費の設計委託料930万円の内容は。

踏切道改良促進法で指定された新村



築29年経過するバーデン明日

踏切の概略設計委託料だ。

産業展示会館研修室をLED化

産業展示会館研修室の照明のLED化に、なぜ防災の起債事業が使えるのか。

産業展示会館は避難所に指定されており、経年劣化に伴う修繕費に充当できる。



建て替えが待たれる庁舎

## 庁舎建て替えの基本理念は 町長 行政サービス提供と災害対応の拠点施設



田中 伸一 議員

**問** 庁舎整備は、まちづくりとの整合性が必要だ。建て替えに向けてどのような基本理念で基本構想を策定するのか。

**笹島町長** 本年度は庁舎整備の理念や方針など、設計の前提となる「庁舎整備基本構想」の策定に着手する。基本理念は「行政サービス提供と災害対応の拠点施設」である。基本構想の内容は今後、庁内検討委員会および策定委員会の中で協議・検討して示す。

**庁舎整備の財源確保は有利な起債の併用は困難なスケジュールだ**

**問** 町は当初、国の2つの有利な起債事業の併用を示していた。

しかし、5月に町が提示した事業スケジュール案では、1つの起債事業の適用期限には間に合わない。もっと早める考えはあるのか。

**町長** 2つの有利な財源を最大限に活用して整備を実施すると、困難な事業スケジュールとなる。これらの財源については、適用条件となる制度の延長を引き続き国に要望していきたい。

**保育所の子どもたちの散歩の安全対策は事前に散歩ルートの実全確認を実施**

**問** 保育所は天津市の事

故を受けて、散歩の安全確保について協議したと聞く。

交通安全点検の再実施など、具体的にどのようなように実施しているのか。

**清田結婚・子育て応援課長** 散歩の実施に当たっては実施記録簿を作成している。毎月一回、子どもたちに交通安全指導も行っている。交差点を渡る際には、列を増やして渡りきれるようにするなど工夫している。今後安全対策に万全を期しながら実施していきたい。

**洋上風力発電をどう観光振興につなげるか**  
**海岸線に点在する観光スポットを線でつなぐ**

**問** 町長は「入善沖の洋上風力発電事業は町にとつ

て大きな魅力の一つとなり、観光振興につなげていきたい」と述べた。具体的にどのような視点に立って観光振興を推進していく考えか。

**町長** 海岸沿いのサイクリングロードを活用し、海岸線に点在する観光スポットを線となるよう結び、それぞれの魅力を相乗効果でPRできるように努める。

**問** 洋上風力発電事業は2021年1月から商業運転を開始することだったが、スケジュールに変更はないのか。

**梅澤キラキラ商工観光課長** 第三者機関による設計審査で、風車基礎構造の安全性を確認する必要が出たため、新たな追加実証実験を行うとのことだ。そのため工事開始時期に遅れが生じる可能性がある。

そのための工事開始時期に遅れが生じる可能性がある。

学童保育 40人以上は来年度から条例違反に  
結婚・子育て  
応援課長  
受け入れ制限の検討も必要



受け入れ制限ではなく施設の改善を

**問** 町の条例では、学童保育の「一つの支援単位の児童数はおおむね40人以下」としている。40人超を認める経過措置は今

年度までだ。

飯野学童保育は登録者数68名で、来年4月1日から条例違反となる。指導員を拡充し、部屋

を分けるなど手立てをとるべきだ。

**清田結婚・子育て応援課長**

2つに分ける方法もあるが、40人以下と言うならば受け入れ制限の検討も必要だ。

**問** 町が自分で作った条例に合わせ設備を改善するつもりもないのか。

**清田課長** 受け入れ制限をするのか、40人以上でもよいとする経過措置を延長するのか検討する。

**問** 以前から、長期休みの朝7時半からの開所や

連休中の開所を求める声があるが、現在の指導員は精一杯の頑張りで、さらなる充実には指導員の賞与・社会保険などを保育士並みに改善し、町が責任を持って常雇用し育成すべきだ。

**清田課長** 顔の見える保育ということ、地域で指導員を探してもらっている。常雇用も募集しているが不規則勤務で確保が難しい。

**マックイムシ被害の今後の対策は**

**国・県の補助事業で対応したい**

**問** 園家のマックイムシ

被害は新たに松枯れが発生し、収束していない。今年度からの対策は具体的にどうか。

**窪野建設課長** 昨年度までに県の事業で349本伐倒した。

森林に指定されたことで、国や県の事業が活用できるようになった。国の森林病害虫防除事業で薬剤散布を行い、県の枯損木除去事業も活用していく。

**問** 国の事業が使えるようになったが、町の当初予算で大丈夫なのか。

昨年度まで行っていた民地も対象とした海岸林保全整備事業の復活など、県に支援を求めるべきだ。

**窪野課長** 実情を見ながら県に要望していく。森林指定された林内の枯損木は町で対応できる

が、民地は本来、所有者・管理者が対応するもの。適切に伐倒駆除の指導・助言を行いたい。

**生活を壊す消費税増税中止を**

**社会保障の財源としてやむを得ない**

**問** 3月の景気動向指数は6年2カ月ぶりに「悪化」となり、世論調査も、10月の消費税引き上げ反対が6割を占めている。

ここで消費税を引き上げれば住民生活も中小企業の経営も成り立たなくなる。百害あって一利なしの消費税増税はやめるべきだ。

**町長** 社会保障の財源として引き上げはやむを得ない。増税分は社会福祉事業に活用される。



井田 義孝 議員（日本共産党）



町営バス のらんマイ・カー

バス割引で精神障がい者を除外  
 町当局の人権意識が問われる  
 キラキラ 利便性の追求や環境整備に  
 多額の費用がかかるので慎重に検証  
 商工観光課長



松田 俊弘 議員

**問** 県内のバスなどを運行している自治体で、12の市町が障がい者割引を行っている。その中で精神障害を対象外としてい

るのは入善町だけだ。なぜ改善しないのか。法律では、障害を理由にサービスに差を付けることを禁じている。町当局のトップは、人権意識が希薄だ。

合わせ、住民票などの発行数料を、200円から300円に引き上げるとしている。増益で窓口サービスの改善が図られるのか。

**梅澤キラキラ商工観光課長** 福祉施策のタクシー・ガソリン券は、精神障がい者にも支給している。利便性の追求や環境整備に多額の費用がかかるので、慎重に検証する。

**泉住民環境課長** 電算化や他市町村との連携など、コストが増えており経費の一部に充てる。

**町図書館のコピー料金** は県内全市町村の2倍  
**近隣市町に合わせる考** えはない

**問** 町は町民に負担増を求めるときは他市町の例を挙げるが、料金の引き下げなどでは、他の動向は意に介しない。

**手数料値上げの増益でサービスは改善されるのか**  
**コスト増に対応し経費に充てる**

**問** 町は、県内全町村に

図書館のコピー料は白黒1枚20円、カラー100円だが、県内すべての市町村はこれらの半額だ。町も引き下げるべきだ。  
**板倉教育委員会事務局長** 経費の実費分の負担であり、近隣市町に合わせることが考えていない。

**より自然な排砂・通砂には何が重要か**  
**6月から8月末以外での実施の検討が必要**

も大量に排砂されるようになった。さらには、一昨年の榑関西電力の資材流出事故による排砂中止で、昨年は過去平均の5倍の土砂が排出された。漁業者は、危機感と国交省への不信感を募らせている。

**問** 5月の土砂管理協議会では、朝日町長や黒部市長から、「漁業者の不安が払しょくされず、排砂が強行されていると聞く」「国交省と漁業者との会合では、会議にならなかったと聞く」との発言があった。

町は、漁業者と排砂実施機関との関係改善に取り組む考えはあるか。  
**町長** 必要ならば、漁業者などの意見を伺い排砂実施機関に伝えたい。

**問** 国交省と漁業者の会議に出席することもやぶさかではない。

**問** より自然に近い排砂・通砂とするためには何が重要と考えるか。

**町長** 6月から8月末以外での排砂を検討することも必要と考える。

近年、宇奈月ダムから



# 町はどのように「働き方改革」を進めているのか

町長

## 長時間労働の是正や働きやすい職場環境づくり

**問** 国が進めている「働き方改革」について、町はどのように取組んでいるのか。

**町長** 超過勤務の縮減に

よって長時間労働を是正、あるいは、職員の各種休暇取得の推進、ハラスメントの防止により、働きやすい職場環境づくりに努め、職員の健康を確保する。

ており、組織体制への影響が少なからず懸念される。再任用制度のほか、勤務延長、臨時的任用を含めて検討を進めている。

**自治公民館規模の防災組織の立ち上げが必要**  
**町内すべてに自主防災組織の結成を目指す**

町では、災害対応の実効性を高めるために、町内会など、顔の見える単位で、日頃からの防災訓練が必要であると考えている。

**窪野建設課長** 湾岸道路は、あいの風とやま鉄道北側の地域において、町の東西方向を連絡する重要な幹線道路である。また、災害時における重要道路でもあり、一部区間は県において、県道入善朝日線のバイパスとして整備が行われている。現在進められている事業の進捗状況を確認し、関係機関と協議をしていく。

**湾岸道路の進捗状況は一部県道バイパスとして整備されている**



働きやすい職場環境づくりに努めよ

これらの実現が、より質の高い住民サービスの提供へとつなげることができると認識している。

**問** 定年退職者の就労確保と再任用制度の運用を考えているのか。

**町長** 今後3年間で26人が定年退職の予定となつ

**問** 自治公民館規模での自主防災組織の立ち上げについて、どう支援をするのか。

また、組織率の目標は考えていないのか。

**小林総務課長** 災害時は自分と家族を守る行動から、隣近所へと広げてい



池原 純一 議員



町の宝 高瀬湧水の庭の湧き水



中瀬 淳哉 議員

## 入善の水はなぜおいしいのか

### 水の成分を把握しているのか

**町長** 水の成分分析や表示は行っていないが  
情報提供することは重要だ

**問** 当町の水は、全国に誇ることができる宝であり、守りながら生かしていかなければならない。町は当町の水の成分を

把握しているのか。なぜ入善の水はおいしいのか。また、当町全域でどこの水がおいしいのか、味めぐりをできるようにしてはどうか。

**町長** 水のおいしさについては、個人の味覚によって違いがある。

水の成分分析や表示などは行っていない。しかし、当町の地下水がなぜおいしいのかという点について、情報提供することは重要なことと捉えている。

おいしい水に関する情報表示を行うことは、フィールドミュージアムにおけるサテライト整備の一環となる。今後、情報表示

のあり方なども含め調査を行っていきたい。

また、湧水に限らず入善の水が飲める場所の発掘や体験ルートの作成、水を飲み比べるフィールドツアーの実施、湧水マップの作成なども必要なものと考えている。まずは、できるところから取組んでいきたい。

### 地籍調査を今後どう進めるのか

未実施地区での事業着手は必要である

**問** 当町の地籍調査の現状はどうか。

**窪野建設課長** 地籍とは「土地に関する戸籍」の

ことだ。この地籍を調査することにより、

- ・ 土地や境界を巡るトラブルの未然防止
- ・ 登記手続きの簡素化や費用縮減
- ・ 土地取引の円滑化と有効活用の促進
- ・ 各種公共事業の効率化や災害復旧の迅速化などの効果がある。

当町における地籍調査は、全体面積の約84%が完了している。この進捗率は、県や全国と比較しても高い。

これは、農村部で早くから行われた農地の基盤整備事業により、換地作業が進んだことによるものだ。

しかし、市街地や漁村地域などの密集集落、山間部などでは、地籍調査が未実施という状況だ。

**問** この現状をどう考えているのか。また今後どのように進めていくのか。

**窪野課長** 地籍調査は、土地に関する行政活動や経済活動の促進につながるため、未実施地区での事業着手は必要である。

しかし、土地所有者の土地に関する権利を修正することにつながることも、また境界立会いの協力が必要なことなど、関係者の理解と協力が要だ。

調査の実施には、土地所有者など関係者の合意が必要不可欠であり、事業を実施する上での前提と捉えている。

また調査は、長期間にわたることや財政的な負担、さらには担当職員の確保も必要となる。地域の実情を踏まえながら、検討していきたい。

町は「地域農業振興計画」を基に  
地域農業の活性化に取り組んでいくべきだ  
町長 関係機関と連携し  
町の農業振興を図りたい



白ネギ調整ライン(上田地内)

問 J Aみな穂が策定した地域農業振興計画を基に、町はJ Aみな穂と協力し、地域農業の活性化に取り組んでいくべきではないか。

町長 J Aみな穂は今年度から令和3年までの「農業者の所得増大、地域の活性化へのさらなる挑戦」を基本方針とした新たな「地域農業振興計画」をスタートさせた。

この計画は「需要に応じた安全安心な農産物の生産販売と特産物の維持拡大」や「総合事業を生かした担い手への提案と担い手育成・確保」など4つの柱で構成される。いずれも地域農業を活性化させるための重要施策であると考えている。町の農業施策はJ Aみな穂をはじめ、国、県など関係機関との連携が不

可欠である。

町は、これまでも町を代表する特産品、入善ジャポボ西瓜の振興施策として、新規就農支援事業や新規栽培促進事業に取り組んできた。

また、白ネギ調整ライン・保冷庫の設置、里芋選別機・乾燥設備の整備に支援してきた。さらに、国の産地パワーアップ事業を活用し、2カ所のコメの乾燥調製施設、ライスセンター建設に支援してきた。今後も互いに協力・連携し、国の制度や動向について情報の交換・提供に努め、地域農業の活性化にむけ努力していく。

交通ルールを守った農作業を  
継続的に啓発していきたい

問 春の農繁期の苗や肥料、稲刈り時期の米の積み過ぎで、警察の取り締まりを受けた農家がいると聞いている。

交通違反が原因の悲しい事故により、基幹産業である農業の質を下げないよう、また良質米の産地の名を汚さないよう、J Aみな穂とともに指導してはどうか。

小堀がんばる農政課長

J Aみな穂とともに、座談会などの機会に交通安全などについて継続的に啓発をしていきたい。

消防団員不足の早期解決を  
広報などを利用し加入促進に努める

問 入善町消防団は定数375人に対し、340人と充足率は90・7%となっている。数年前まで95%程で推移していたが、ここ2年で大きく落ち込んだ。

全国で充足率の上がつている地域の取組みを参考に募集してはどうか。

小路消防署長

全国的な活発な活動などを調査し、参考にしていきたい。また、広報やケーブルTVを利用して地域住民に対し、理解と協力を求め、消防団員の加入促進に努めていきたい。



鍋嶋 慎一郎 議員



役場2階が会場の期日前投票所

期日前投票と選挙公報との兼ね合いを  
選挙管理  
委員会委員長  
できる限り迅速な対応を  
実施していく



五十里 忠茂 議員

**問** 有権者は告示の翌日から期日前投票ができる。しかし、選挙公報が有権者に届くまでには時間がかかる。

投票における選択の余地が限られてくると思うが、どう考えているのか。

**飯田選挙管理委員会委員長**

選挙公報には、候補者の氏名や政見などが掲載されている。各選挙を管理する選挙管理委員会が発行するものだ。配布については、法令により選挙期日の2日前までに配布することになっている。しかし、期日前投票に対応するため、選挙管理委員会としても、1日も早く有権者に届けるよう努力していく。

**町ホームページで選挙公報の掲載は可能か**  
多くの利点が考えられるので研究したい

**問** これまで公報は一定の役割を果たしていると思うが、まだ生かし切れていないと感じるところもある。

期日前投票に対応するため、今後のあり方が求められていると思うが、ホームページへの掲載は可能なのか。

**飯田委員長** ホームページに掲載することは、配布時間の短縮や閲覧する際の利便性の向上など、多くの利点が考えられる。

しかし、例規整備などの課題もある。  
町選挙管理委員会が管理する次の選挙まで期間があるので、十分に研究していく。

**君島踏切工事の地元事前説明会の開催予定は内容などが固まり次第開催したいとのこと**

**問** 踏切拡幅工事に関わる地元への事前説明会を開催する考えは。

**窪野建設課長** 現状では、歩道が無いことから大変危険な状態である。

町では、以前から地元や学校関係者から、踏切の改良や歩道設置についての強い要望を頂いており、県に対して働きかけてきたところである。

平成29年度に事業が採択され、現在は令和2年

度の工事完了に向け、事業内容など細部についてあいの風とやま鉄道と協議を詰めているとのこと。  
具体的な内容が固まり次第、地元説明会を開催したいと聞いている。

**踏切周辺の環境整備はどうなるのか**  
花壇は撤去し公園の機能を復旧させると聞く

**問** 地元自治会は踏切周辺の環境整備に力を注いできた。今後はどうなるのか。

**窪野課長** 踏切の山側にある花壇は撤去し、海側にある公園は、機能復旧すること。

工事に係る範囲については、除草対策など管理しやすい構造に考慮することだ。

町長  
日本郵便（株）との連携協定の目的と内容は  
広域包括協定を締結し  
観光振興など地域課題に活用したい



KITTE東京で開催された観光物産フェア

問 6月4日に当町を含む3市2町で、日本郵便と地域包括協定を締結したが、その目的と内容は何か。

町長 目的は、地方自治体と日本郵便のおののおのが持つ、人的・物的な資源やネットワークの活用を通じ、地域振興や地域活性化に寄与することだ。町には、観光振興、防災・防犯、地域経済の活性化など、多くの地域課題がある。

今回、この協定を締結したことにより、町が抱える地域課題に対応が可能になる。また、圏域を超えた広域的な課題も多く、連携して地域課題に対応できると考えている。

なお、7月3日から2日間、3市2町の商工関係団体で、日本郵便の施設

設であるKITTE東京において観光物産フェアを予定している。今後も、観光振興にとどまることなく、災害時の協力や不審者情報の広域エリアでの提供など、この広域包括連携が活用されるよう、関係自治体や日本郵便と十分な話し合いを行いながら進めていきたい。

**食品ロス削減へ向けた  
の当町の施策は  
広報などさまざまな啓  
発活動を行う**

問 食品ロス削減を目指すため、今後当局はどのような施策を考えている

のか。  
泉住環境課長 毎年開催されている「まつりんびっく」で環境ブースを設け、ごみの減量化や環境問題についてのクイズやパネル展示などの啓発を行っている。

また、家庭に向けては、一人一人が取り組みやすい削減方法を広報するなど啓発に努め、食品ロスの削減を進めることで、資源の有効活用やごみの減量化を図っていく。

問 災害用備蓄食料の取り扱いはどうか。  
小林総務課長 町では、災害時における避難所生活に備え、非常食や飲料水を平成26年度から計画的に消防防災センターの倉庫に備蓄している。現在の備蓄状況は、防

災用クラッカーが1万80食、小麦アレルギー用のアルファード米が250食、500ミリリットルのペットボトル飲料水8千本余である。

9月に県と合同で入善町総合防災訓練を実施する。その際、保存期限を迎える非常食を運搬・配給訓練に使用し、参加者に試食していただきたいと考えている。



本田 均 議員



用途地域内の農地

## 用途地域の工業地域指定の見直しを 住まい・まち づくり課長

### 用途地域の一部除外はそぐわない



五十里 国明 議員

**問** 町は工場の増設に備えて用途地域内に工業地域を設定している。しかし、工業用地として工業地域に指定されて

いる農地は、現在、工業用地として必要ではない状況である。

工業地域に指定されていることで、地権者に多大な負担が生じていると聞く。

工業地域の指定を見直すべきと考えるがどうか。

**米田住まい・まちづくり課長**

用途地域とは、都市計画画法に基づき定めるものである。住宅地、商業地、工業地など13種類に区分している。

建物の用途や形態を規制、誘導することで、住み分けと効率的な土地利用を図り、暮らしやすいまちづくりを目指すためのものである。

住みやすい環境整備と計画的なまちづくりを行うていくために、用途別にエリアを定めているものであり、一部の農地だけを除外するということは、そぐわないと考える。

**問** 工業地域の指定は地権者の同意を得たのか。

**米田課長** 用途地域などの決定は、公聴会の開催などにより住民の意見を反映させ、案を作成することとされている。

また、作成した案は、公告縦覧し広く意見を求め、都市計画審議会を経て決定している。

法的に、地権者の同意は求められていないが、土地の利用制限や評価に

影響を及ぼす可能性があることから、利害関係者を対象とした説明会などを実施している。

**工業地域指定で財産評価基準に影響がでる土地評価は適切に評価されていると考える**

**問** 用途地域内の工業地域に指定されている土地について、固定資産税は現況地目で課税される。

しかし相続税の場合、工業地域に指定されていることが財産評価基準に影響を与える。

工業用地とみなされ、地権者に大きな負担がかかっていると訴えがあるがどうか。

用途地域の内と外で相続税の評価の仕方はどの

ように違ってくるのか。  
**横山税務課長** 農地の相続税の評価は国税庁の財産評価基準が適用されている。

この基準は、用途地域内外で算定方法が違っている。

用途地域外の農地、通常の農振区域では固定資産税評価額に一定倍率をかけた算定している。

一方、用途地域内は路線価方式とし、農地を宅地とした場合の価格から宅地造成費を差し引いた価格を評価額と算定している。

このような違いから地域の条件によっては評価額が違うが、その土地の評価は適切に算定されていると考える。

# 平成30年度政務活動費の収支報告

平成30年度の政務活動費は、次のように使われました。年額12万円を限度に交付されています。政務活動費は、議員が町に関する施策を調査研究するために必要な経費の一部として、会派に対し議員1人当たり 領収書などは町ホームページで公開されており、議会事務局での閲覧もできます。

## 入善町議会政務活動費支出状況一覧 平成30年度政務活動費収支報告書（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

（単位：円）

会派名	アクセス	日本共産党	未来	善の会	計
代表者	松澤孝浩	松田俊弘	五十里忠茂	五十里国明	
所属議員数	10人	2人	1人	1人	
交付限度額①	1,200,000	240,000	120,000	—	1,560,000
支出実績額	689,801	239,306	81,924	—	1,011,031
政務活動費交付額②	689,801	239,306	81,924	—	1,011,031
限度額との差額①-②	510,199	694	38,076	—	548,969

### 【支出内訳】

（単位：円）

会派名・科目	アクセス	日本共産党	未来	善の会	計
1. 調査研究費	667,121			—	667,121
2. 研修費		10,000		—	10,000
3. 広報費		142,026	31,980	—	174,006
4. 広聴費				—	0
5. 要請・陳情活動費	22,680	44,200	22,680	—	89,560
6. 会議費				—	0
7. 資料作成費			6,240	—	6,240
8. 資料購入費		43,080	21,024	—	64,104
計	689,801	239,306	81,924		1,011,031

### 議会のしくみ、学んだよ！

上青小学校3年生36人が7月5日、校外活動の「入善町めぐり」で役場を訪れ、町の仕事や議会の仕組みについて理解を深めました。

この日は丸1日かけて、入善漁港、沢スギ自然館など町内6カ所を見学し、各地区の土地の様子や公共施設の使い方、そこで働く人の様子などを調べること。

議場傍聴席での質問タイムでは、「この場所は何をするところですか？」「マイクはいつ使うのですか？」など、たくさんの質問が出ました。



# レポート

## 交通網対策特別委員会

6月17日に第8回交通網対策特別委員会を開催し、昨年9月からの実証実験の最終報告を受け、課題と対策について議論した。

### 昨年9月からの実証実験の最終結果報告

#### ◇町営バス

#### のらんマイ・カー

利用者は前年同期(平成29年9月～30年3月)と比べると1日57・7人から56・7人に、舟見線は27・1人から27・3人となった。

利用者は堅調に推移しており、このまま年間2万2千人の利用を目指す。

課題としては、車両が老朽化しており、更新に合わせて日中運行車両の小型化を検討する必要がある。

#### ◇デマンド交通

#### ウチマエくん

利用者は前年同期と比べると1日41・4人から48・1人に増えた。

平成31年3月末時点の登録者数は、188人増の1395人となった。

そのほか、登録者の利用率は27%で予約が成立したのは90%だ。また、当日予約での利用率が20%で、70歳以上の利用率が90%だ。

行き先は医療機関が40%、大型商業施設が25%という結果だった。

課題は、利用率の向上で、インターネット予約導入の検討や免許返納者への周知などである。乗合率の向上などで年間2万人利用を目指す。



土日ルートに一本化される新幹線ライナー

#### ◇入善新幹線ライナー

利用者は前年同期比、平日ルート17・3人から14・3人、土日ルート17・1人から13・9人に減った。

両ルートとも、入善駅うるおい館、黒部宇奈月温泉駅で90%が乗降の結果だ。

平日ルートは時間がかかる和不評だ。以前、高速道路を利用していた時の所要時間は16分だったが、利用しなくなっ

## 環境・下水道対策特別委員会

6月14日に第6回環境・下水道対策特別委員会を開催し、平成30年度決算などについての報告を受けた。

また、その決算を基に下水道料金のシミュレーションの見直しについて説明を受け協議した。

### 平成30年度

### 下水道特別会計決算

平成30年度は、基金を繰り入れることなく、6300万円余りを翌年に繰り越した。

要因の一つとしては、

風力発電が効率良く稼働したことにより、売電料が計画より約1400万円増え、電気使用料が約230万円削減されたことによるものである。

また、汚泥運搬費が約1700万円、修繕費が約700万円削減されたことなどがあげられる。

### 料金改定シミュレーションの見直し

平成30年度決算を終え、財政見通しの試算に見直



効率良く稼働した風車



# 特別委員会

ら平日で26分、土日で18分かかるようになった。

これにより、9月からすべて速達性に優れた土日ルートに一本化する。

停留所は、入善駅、うるおい館、入善高校西、黒部宇奈月温泉駅の4カ所のみにする。

速達性をアピールし利用者増につなげたい。また、富山バスロケーションシステムの周知など、検証を行う。

今後は、段階的に予約制の導入や廃止も含めた検証をしていく。

## 主な議論と確認点

### ◇町営バス

のらんマイ・カー

老朽化が著しい車両に關しては、3年から5年以内にマイクロスバスへの更新を考えなければならぬ。

舟見便は朝は30人以上乗車する。現行車両も使い分け、定員超過にならないように努める。



予約体制が改善されたウチマエくん

新屋線、舟見線の2路線は、継続して現行ルートで運行する。

### ◇デマンド交通

ウチマエくん

予約のための電話回線とオペレーターを複数にしたこと、時間帯の複数案を提示する方法に利用者が慣れてきたことで、午前中に集中していた予約のピークにも対応できていると感じている。

主な目的地が医療機関と大型商業施設で、合わせて65%を占めており、一日65人運べる3台体制

で十分運行できる。

増車や目的地の追加の声もあるが、速達性などを求めるのであれば、行政が100%対応するものではないと考える。

乗合率は1時間当たり2・02人から2・2人に向上している。

利用者の声をよく拾って現行のまま利用率、登録者数の向上を目指す。

### ◇入善新幹線ライナー

平日ルートは時間がかかり不評だ。スマートICの停車は、乗降者がいなくても駐車場に入らなければならず、時間がかかる。

すぐにライナーの廃止は難しいが、まずは朝日町や魚津市の予約制も研究する。

## こんな意見も

委員会として精神障がい者も割り引きすべきとの意見を提出した。

しを加えたところ、基金残高は平成34年（令和4年）に枯渇する見通しであったものが、令和5年に先延ばしになることがわかった。

それを踏まえた上で、料金改定について、10%、15%、20%の引き上げをした場合や最大30%まで段階的に引き上げた場合など、複数のシミュレーションを検討した。

また、近隣市町における下水道使用料の改定状況についても報告を受けた。

その報告により、各市町で料金設定に違いはあるものの、複数の市町で定期的に料金改定していることを確認した。

## 農業集落排水の統合工事 今年度からスタート

今年度は、小摺戸地区の農業集落排水を公共下水道に接続する工事を実施する。

今後、設備機器の更新

も見込まれる小摺戸浄化センターを廃止し、入善浄化センターに一本化することで、さらなる維持管理費の削減を図る。

統合後の小摺戸浄化センターについては、今後の有効活用に向け、現在検討中である。

## 委員から出された意見

委員からは「今後は設備機器の長寿命化対策などの経費の増加も見込まれることから、料金改定はやむを得ない」「改定の時期と率を早々に検討しなければいけないのではないか」などの意見が出された。

また「料金を上げる場合には、その理由を町民の皆さんにしっかりと理解してもらうことが必要である」と「近隣市町の値上げの時期や値上げ率を参考に検討してはどうか」などの意見が出された。

# 事業紹介

## コミュニティ パートナーシップ事業

近年、少子高齢化や核家族化が進展し、地域コミュニティ意識や住民自治意識の希薄化が進んでいる。

そのため、将来的に地域コミュニティの存続が危惧されている。

そこで町は、地域の各種団体や組織が互いにパートナーとして横に連携し、将来ともに持続可能な地域コミュニティの形成と支え合いによるまちづくりを推進するためにこの取組みを行っている。



### 取組みと内容

- 1、事業主体  
各地区（区長会や自治振興会または協議会）
- 2、事業内容と補助  
① 地区において、その地区の実情に合ったテーマ（地域の抱える課題など）の調査、検討および各種団体の横断的な連携による組織作りの準備（初年度 限度額15万円）  
② 地区住民（各種団体など）による課題の検討と解決のための協議会の設置  
（次年度 限度額3万円）  
③ 協議会（住民自ら）による地域の課題解決などに向けた事業の推進  
（以降 限度額7万円）
- 3、補助対象経費  
報償費、旅費、事務費など（備品の購入費を除く）

4、補助率 100%

5、協議会の設置状況

7 地区平成30年度末現在

6、現在までの取組み内容

- ・ 各種団体の連携を強化
- ・ 地域防災対策・体制の強化

### 課題解決と 強い地域づくり

- ・ 地域福祉活動を通じての見守り、助け合いの推進
- ・ 地域伝統文化の伝承など地域の絆の強化
- ・ 地域環境整備の推進
- ・ 各種イベント開催による地域の絆の強化
- ・ 地区情報の共有
- ・ 自治公民館の建設検討
- ・ 雪害対策
- ・ 冬のイベント開催
- ・ 左義長の実施
- ・ ホームページを作成し、各種団体が相互に情報発信し連携を強化

各地区が抱える課題や問題は、各種団体だけで解決するのが困難になりつつある。幅広い年齢層を対象とした多くの住民を巻き込んで、地域全体の課題として協議することが今後ますます求められているのではないかと、地域コミュニティの担い手を育成するという観点からもパートナーシップ事業は必要である。

町では、毎年、この事業に94万円の予算を組んでいる。未実施の地域については、協議会を設立し、地域の課題解決に向けての積極的な取組みを期待したい。

など、10年間で大小合わせ100件以上の事業が行われている。

## 編集の窓

令和の時代に入り、大相撲五月場所朝乃山関が県出身力士としては103年ぶりに優勝しました。

また、富山市出身の八村塁選手が、日本人で初めてNBAにドラフトで1巡目指名されるなど、嬉しいニュースが続きました。

入善町にも感動のニュースが訪れることを期待してやみません。

また、この令和最初の議会、だよりは創刊から190号目と、記念すべき回となりました。

より読者の視点に立つて、読みやすく、わかりやすい議会広報となるように努めてまいります。

### 議会広報編集特別委員会

議長	佐藤 一仁
委員長	野島 浩
副委員長	中瀬 淳哉
委員	松田 俊弘
〃	五十里 国明
〃	田中 伸一
〃	鍋嶋慎一郎